

輸出事業計画

※申請者名：(株)オーカワパン、品目：パン

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・少子高齢化の進展により国内市場の縮小が予想される中で海外向けの高付加価値商品の開発により、差別化を図り、海外への販売促進を図る必要がある。
- ・特に、アジア市場においては、現地消費者ニーズの多様化による「日本式のやわらかくしっとりしたパン」へのニーズが高まっている。

【課題】

- ・「日本式のやわらかくしっとりしたパン」となる商品製造は、従来より製造技術は保有していたが、専用設備が必要等の観点から費用対効果が見込まれない点、及び既存生産ラインがFSSC22000に対応していないことから一部工程を外注していたため、製造コストの面から原価の高い商品となり、収益面において定番商品での商品化が困難であった。
- ・一方で、シンガポール、ベトナムのターゲット国への輸出においては、輸出先国のニーズに合った商品供給が求められているが、その商品製造においては「日本式のやわらかくしっとりしたパン」の特徴が必要であることと併せて、輸出対象製品の製造にあたってはFSSC22000認証取得が求められていることから、この認証基準を満たした製造ライン及び製造工場施設の整備が課題である。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・シンガポール、ベトナムの「ターゲット国」のニーズに合った「日本式のやわらかくしっとりしたパン」の商品開発を行い、今後5年間で全商品の一部の原料を小麦粉から米に変更した製法による製造に切り替えていく。

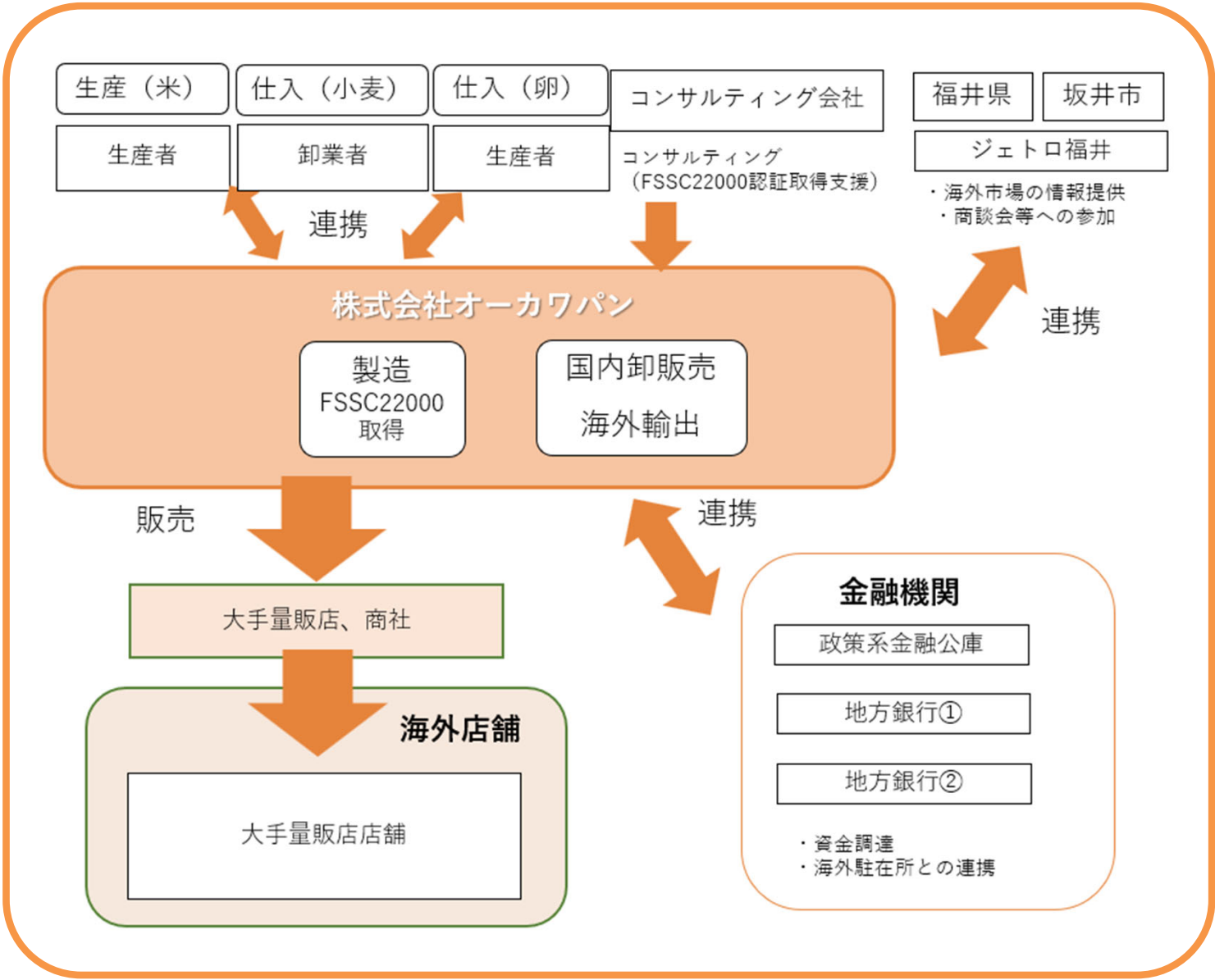
【専用製造設備の導入】

- ・シンガポール、ベトナムのターゲット国への輸出に向けてFSSC22000認証の基準を満たした機械設備を含む一連の製造ライン及び製造工場施設を導入。

- ①仕込・成型・焼成工程において、生地へのダメージが少ない専用製造ラインに変更
- ②包装時に窒素を充填するラインでの包装ラインの導入
- ③製品情報の識別及び汚染物質混入防止のための検査識別機器の導入

輸出事業計画
※申請者名：(株)オーカワパン、品目：パン

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

- 海外売上目標
- ・輸出向けの売上目標は、令和10年度度に1億8千万円の売上を想定している。
 - ・ターゲット国は、シンガポール及びベトナムとする。

		現状 (令和3年)	目標年 (令和10年)
坂井地区	輸出額(千円)	0	180,000
	輸出量 (kg)	0	120,000
	輸出先国	-	シンガポール、ベトナム